

J R 総連通信

2023年10月31日 No.1686

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

第1回「地方ローカル線と地域の未来を創造する会」 意見交換会開催！

「地域住民アンケート」「地域集会」の成果と沿線自治体との連帯を確認！



意見交換の様子

主催者を代表し挨拶する大村委員長

10月30日、盛岡市においてJR東労組盛岡地本主催による表題の意見交換会が開催され、来賓としてJR総連より小林政策・政治部長が参加しました。

意見交換会には、東北地域のローカル線を守る立場で地域活動されている各沿線代表の方々などが出席し、2023年5月21日に開催された「地方ローカル線と地域の未来創造フォーラム」以降、それぞれの地域で取り組んできた「地域住民アンケート」や「地域集会」の成果と教訓などを報告しました。アンケートでは、列車利用の多くは「通院」や「通学」次いで「観光」との回答が集中し、利用理由では「目的地に早く行ける」「安全性が高い」「駅から近い」などの回答がある一方で「本数が少ない」「便が悪い」など、今後のダイヤ改正にむけて利用促進に繋がるダイヤ改正が必要との意見も出されました。

また、10月1日より事業者や自治体が国に要請をすれば設置が可能となった「再構築協議会」についても言及し、「JR東日本は、協議入りの優先度が高いとされる県内6路線10区間について、当面、設置要請をしない方針だが、国主導ではない形で沿線自治体と話し合っていく意向を表明している。我々の役割はますます重要になってくる」「JR釜石線沿線自治体では首長会議が開かれてきた」「JR北上線では存続にむけて利用促進協議会が乗車票を配布し、北上駅～横手駅間で利用向上にむけた取り組み行う」など、今後に向けて創意工夫したアイデアを募ることや、引き続き「地域住民アンケート」や「地域集会」を各地でおこない、それらの声をもとに請願行動へ繋げていくことが確認されました。